

山林火災の原因は？ - 西日本防災システム

2013 09 19

9月19日午後1時10分頃、和歌山県古座川町平井の高尾山で火災が発生しました。自衛隊などのヘリ4機が消火活動にあたり、20日午前8時25分頃に鎮火を確認したようです。串本町消防本部などによりますと山林約11.2haが焼けたようです。火災現場近くに民家はなく、けが人などもないようです。

串本署によりますと、19日は日没まで、県と三重県の防災ヘリ、自衛隊のヘリ2機が上空から消火活動をしたそうです。日没後は同町消防本部や地元消防団が監視し、20日午前7時から再び県防災ヘリで消火活動を再開した結果鎮火したようです。

同署の調べによりますと、出火当時、すさみ町にある木材業者の男性作業員3人がワイヤロープで木材をつるし、搬送する作業をしていたそうです。このロープが山の木とすれて**摩擦熱**で出火したとみられているようです。この作業員が119番通報したそうです。

同署と町消防本部が火災原因を詳しく調べているようです。



西日本防災システム
NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

